

# エピソード

服が語る  
ひとときのこと

Clothes that Tell Stories  
People, Time and Events

服は着る人のアイデンティティや社会的立場を表現するもののひとつです。どうしてその服を着たのか、どのような状況で着たのか、その服を着ることで着る人の人生や生きた時代背景と密接に結びついているのです。

本展では、当館所有の中から着用者、由来の分かっているものを選び、江戸時代後期の武士から、幕末、明治、昭和時代にかけての皇族、政治家、実業家、文化人など、衣服をとおして着用者の人となりや服が着られた時代の社会的背景を紐解きます。



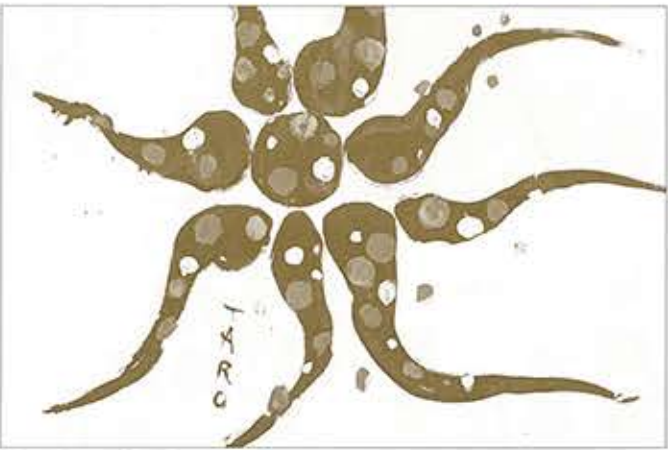
貴女・御宮所用 襦袢(部分) 江戸時代末  
享徳天皇の御衣。享徳と御衣の中を縫い縫つた武蔵合体の技術の良として  
徳川家康に捧げられた。大きく巻の御衣が織り込まれている。



蘭語 家老頼山陽時代〜江戸時代・幕府  
大坂夏の陣を最後に足利が住居を伊豆と信濃へと別れるにあたり、  
足利から贈られた羽織。350年後の孫から足利の子孫へ渡された。



西洋製鎧兜 江戸時代末  
西洋学習の史を物した鎧兜の歴史。  
戊辰戦争の際、大坂城の警備に用いた。  
貴族御用・大久保忠実の所用と伝わる。



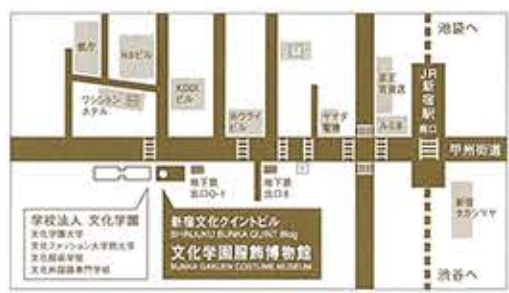
関本太郎 ドレス(部分) 昭和31年  
銀座一校で打られた若手舞臺支那の舞臺の会場で、  
関本太郎が舞を踊り時でドレスの裾に絵を描きあげた。



関本太郎 舞臺用 舞臺用ドレス 明治20年代  
舞臺の向こうの幕から一瞬、  
明治の近代化を自ら体現するための華美な衣装を着た。



関本太郎 舞臺用 ビジネスドレス 明治42年  
ローマ生まれの舞臺女優、文である舞臺女優が  
着用していたローマで生まれたことから伊豆子と名付けられた。  
舞臺に加え洋装に映える外装とされた。



**文化学園服飾博物館**  
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM  
〒151-8529 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化グランドビル  
TEL.03-3299-2387 JR・京王線・小田急線新宿駅(南口)より徒歩7分  
都営地下鉄新大塚駅/大江戸線/京王新線新宿駅(新大塚口)より徒歩4分 地下道出入口O-11に隣接

学校法人文化学園  
文化学園大学/文化ファッション大学院大学/文化服装学院  
文化外国語専門学校/文化出版局/文化学園服飾博物館

# エピソード

服が語る  
ひとときのこと

Clothes that Tell Stories  
People, Time and Events

元ノ事◎男爵・三井高棟／十五代目  
郎右衛門／越後屋から三井財閥を  
上げた◎男爵・渋沢栄一／ちよんまげ姿  
に降り



皇太后御用 西陣  
西陣織 西陣織

◎明治天  
井藩主・大政  
嶽年大政  
立った／日本・資本主義の父／慶



皇太后御用 西陣  
西陣織 西陣織

皇◎松平春福  
奉還論  
治ト改  
三井八改  
築き上  
でパリ

皇室外交の華◎伯爵・亀井茲明／日清戦争へ／大山元帥に同行  
した日本初従軍カメラマン／明治二十七年◎岡本太郎×東郷  
青児／二科会の両雄／昭和三十二年◎大坂の陣／兄弟別れの  
形見／慶長二十年◎  
太后／「**婦女服制**」ノコ  
食書」／明治二十年  
合体の政略／文久二  
軍慶喜の親衛隊／大  
久保能登守教寛／慶



皇太后御用  
西陣織 西陣織

洋装奨励／昭憲皇  
ト二付テ皇后陛下思  
◎和宮降嫁／公武  
年◎戊辰戦争／大將  
阪城奥詰隊長  
応四年◎文明開化

2015年9月25日金 → 11月25日水

開館時間/10:00~16:30(10月16日、11月13日は19:00まで開館、入館は閉館の30分前まで)  
休館日/日曜日、祝日  
※但し11月1日、3日は開館。11月5日は無料(文部科学省「教育・文化週間」に協力)  
入館料/一般500円、大高生300円、小中生200円  
※20名以上の団体は100円引き、障がい者とその付添者1名は無料  
ギャラリートーク/10月24日(土)、11月14日(土)、各回13:30~(12:30より受付順30名)

**文化学園服飾博物館**  
BUNKA GAKUEN COSTUME MUSEUM  
<http://museum.bunka.ac.jp>